

(1) 2013年(平成25年)1月17日(木曜日)



県内1号店の「ステーキのあさくま前橋店」

名古屋発のステーキチェーン上陸

FCで県内展開を推進

あさくま

名古屋発祥のステーキチェーン、あさくま(名古屋市中天白区、森下篤史社長)が本県に上陸した。12月19日にFC(フランチャイズチェーン)で「ステーキのあさくま前橋店」(前橋市問屋町1-11-1)をオープン。サラダバー付きの国産牛肉のステーキ・ハンバーグ、厨(ちゅう)房や書斎を思わせる内装などの落ち着いた雰囲気、売りに、幅広い客層を見込む。今後もロードサイドやショッピングセンターのレストラン街などを

中心にFC展開を県内で進めていく方針。県内1号店の前橋店は市道大友町西通線(通称産業道路)沿いの空き店舗に出店。店舗面積は約400平方メートルで、客席は120席。厨房の雰囲気を生かしつつ客席に改装したスペースや書斎を思わせる個室なども用意した。

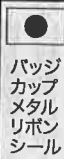
食事メニューには、すべてサラダバー(コーンスープ、カレー、ライス、ソフトクリーム)が付く。ランチではオーストラリア産牛肉のサーロインステーキ(150グラム)が1980円、あさくまハンバーグが1380円など。デイナーメニューは1380円から。和牛のサーロインステーキは150グラムで3880円。このほか、名古屋発祥らしく「トンテキマレーナ名古屋味噌」「BIG海老フライ」なども用意している。またサラダバー付きの小学生プレートは880円から。

営業時間は午前11時から午後11時までで年中無休。客単価は昼1350円、夜1980円、トータルで1700円前後を見込んでいる。月商目標は900万円。同社は1962年創業。店舗数は現在35店舗。一時、100店舗を超えるが、BSE(牛海綿状

脳症)問題や競争激化などで業績が低迷。中古厨房機器販売のテンポスバスターズ(東京都)が11年に子会社化した。これにより厨房機器を安く調達できるようになり、初期投資が抑えられるためFC化が可能と判断。昨年、本部を立ち上げ展開をスタート。前橋店がFC4号店。同社のFCは、居抜きで初期投資1500万円、ロイヤルティは5%。



厨房を改装した客席



希彰堂

(231)3311